

事業所名

グレースマイル

## 令和7年度支援プログラム

作成日

2025年

3月

11日

法人（事業所）理念		グレースマイルでは、一人ひとりの特性を大切に、お子様の健全な成長を育む環境を提供します。安心安全に過ごせることができる場所として、自分で考えて自分で決定する自律を促します。自己肯定感を高め、社会に出た時に折れない心をはぐくむことができる場所にします。屋外の環境を最大限に活用し、運動能力の向上・維持、新たな挑戦をする機会を提供し、その中でルールや社会性を学びます。学習への苦手意識があるお子さまへの支援として、自分のペースでできること、好きなことを見つけ、そこをさらに伸ばすことで自信をつけ、そのエネルギーで苦手なところも伸ばせるようにします。希望があれば宿題への支援もします。祝日・学校休業日にはお子様と一緒に考えた楽しい事（体験等）を企画し、やりたいこと・楽しいこと・好きなことを探します。グレースマイルに来たらドキドキワクワクすることがある、と感じられるような放デイを目指します。当事業所は、キリスト教を母体を持つトータルケアセンターの傘下ですので、「あなたは高価でと貴い」という聖書のメッセージを関わるお子様一人ひとりに伝える責任をもってスタッフは支援します。スタッフはお子様との良い関わりを続けられるよう、お子様の興味や意識等敏感にアンテナを張り支援の仕方を模索します。大切なお子様を預かるスタッフの心身のケア、教育等研修を設け、支援の質を保ち続けます。						
支援方針		1, 安全・安心な環境を整え、利用者・保護者の立場に立ち、その意思及び人格を尊重する。2, 利用者が、日常生活における基本動作を習得できるように、また、集団生活への適応能力が、向上するように支援する。3, それぞれのレベルに合わせた学習や訓練を、学校・保護者と連携し計画に基づき支援する。						
営業時間		14時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	感染症予防対策として、換気・室温・湿度の管理や手洗いうがいの正しい方法を教えていく。アレルギー反応が現れる利用者もいるため、屋外から室内に入る時には衣服をはたき室内にアレルゲンを持ち込まないようにする。長期休暇は昼食を持参するため、衛生管理の整った場所で保管するとともに、誤嚥や詰め込み過ぎに注意しながら楽しくたべられるように援助する。箸の正しい使い方や姿勢を互いに意識して学び合う機会を作っていく。各季節ごとの行事や自然を大切に活動し、皆で準備して楽しみ文化の継承や自然への慈しみの心を育てる。気持ちの良い挨拶を心掛け、気持ちを明るくして穏やかに過ごせるような雰囲気作りに配慮する。						
	運動・感覚	早い下校時や長期休暇は、公園に行く機会を設け、鬼ごっこや、集団遊び等で体を使い持久力や瞬発力・体幹強化を養う。庭では、なわとびや砂遊び、リレーごっこ・わらべ歌等で友達と体を動かして遊び集団遊びの楽しさを伝えていく。切る・丸める・畳む・破る・くっつける・描画する等の、手先を使った行動から色々なものを創造して作品を作り上げることで、達成感を培う。他児の作品を見合っ感じた事を言語にできるようにそれぞれに合わせた援助をする。感覚や感情の違いや表現方法の違いなど人それぞれであることを知り、感じる自由と表現する自由があっても、人の心を踏みにじる行動は社会的に許されないことであると伝えていく。バランス感覚や力の加減等個々に応じた対応で運動や感覚を育てていく。						
	認知・行動	自分が利用する日の活動を予め知り、時刻や時間を意識して、自分で当日の見通しが立てられるように援助する。必要に応じて、夢中になっている時はタイマーの利用等で時間を図れることを伝えていく。自分なりの計画を尊重しながらも、集団であるための譲り合いや交渉術、あきらめることや感謝する事が必要になると日々のかかわりに中で知らせて、その方法を示していく。生活や遊びの中で物の比較や名称・出来事理解等の情報を取り入れ、自分なりに考える力を培い、表現の自由と、他者の思いを重んじながら、互いに尊重し合い助け合う事の大切さを知らせ自分が好きになれる集団を目指して支援する。個々の個性を生かした創造に繋がられるようなプログラムで多様な「好き」や「興味」の幅を広げられる支援をする。						
	言語 コミュニケーション	皆の中で意見を言い、話を聞くことで新しい発見があることに気付いてもらい実際に役に立つ経験を重ねられるようにする。大きな集団では自分が出せない場合は、話しやすい環境を設定して聞き取り、自分の意見が皆に反映されている事が実感できるように配慮する。表現は、個々に応じて言語に限らず、筆記、ジェスチャー、アイコンタクト等であっても聴く姿勢を持って誠実に応じて思いを受け止め、孤立せずに他者と繋がっている事を常に感じられる環境を整えていく。言語野の発達を促すために、必要に応じた情報を提示し、コミュニケーションスキルを伸ばしたり、情報収集・処理能力を刺激し少しずつ考える言語や伝える言語を増やしていく。						
	人間関係 社会性	支援者との信頼関係から、友達への興味や関わりに繋がられるように、いつでも見守っている事や大好きだという思いが伝わる支援を心掛ける。他施設への訪問や、近所の農家さんでの収穫体験・買い物体験やクッキングなどで、自分ができることで頑張り達成感を味わえるようにする。活動の中で互いを認め合い、それぞれの力が出せる機会や場を設け、皆で取り組んでいるという環境を作る。自律した将来を見据えて、個々に応じた他者との距離感や、人権を尊重した関係に配慮しながら、人間関係や社会性を具体的に示し身につけられるように支援していく。つらさや苦手さを否定せずに受けとめ、スモールステップでの成長や行きつ戻りつする成長や感情を穏やかに受け止めていく。						
家族支援		個別な問題については、日頃の送迎やHUGを通して伝え、必要があれば面談を行っていく。個々に応じたご本人・保護者様の不安や疑問に答えられるように対応していく。			移行支援		進級や中学入学の不安解消や、期待作りのために先輩の意見を発表してもらったり、個別に意見を聞いたりして少しずつ自信をつけていく。必要に応じて学校との連携をとっていく。	
地域支援・地域連携		相談支援事業所や他の事業所と連絡し合える環境を整える。			職員の質の向上		日頃の健康管理・子供の権利擁護・後見人制度について	
主な行事等		節分・ひな祭り・花見・進級祝い・こどもの日・母の日・父の日・プール遊び・七夕・ハロウィン・年越し・畑の収穫						